

倫理規程	制定日 2025-9-22	文書番号 PR_900_22_R00_ja
	改定日	改定番号

一般財団法人食品安全マネジメント協会 倫理規程

<前文>

一般財団法人食品安全マネジメント協会（以下「JFSM」という。）は、日本発の食品安全マネジメント規格の普及等を通じて世界の食品安全へ貢献し、世界中の消費者が安心して暮らせる社会を目指しており、以下の目的を掲げています：

- 1) 食品関係事業者の食品安全や品質管理及び社会的責任などの事業基盤ガバナンスを向上させること。
- 2) 食品安全や品質管理及び社会的責任などの事業基盤ガバナンスに係る取組を標準化することにより、食品事業者の事業基盤ガバナンスに係るコストの最適化を図ること。
- 3) 食品事業者の事業基盤ガバナンスの向上を図り、関係事業者や消費者の選択や信頼に寄与すること。

これらの目的を達成するため、JFSM は厳格な倫理観に基づき、公正かつ適正な事業活動を推進するための行動指針として、本倫理規程を制定し、遵守・実践します。

<本文>

（法令及び社会規範の遵守）

第1条

JFSM は、関連法令、公表文書、規程、内規を遵守し、業務品質マネジメントシステムを確立・維持します。独占禁止法をはじめとする関連法令を遵守し、利益相反の防止に努めます。また、社会通念を越える贈答・接待を行わず、JFSM の活動を個人の利益に利用しません。

（人権の尊重）

第2条

JFSM は、すべての人々の人格と人権、プライバシーを尊重し、あらゆる形態のハラスメント行為・プライバシーの侵害、差別行為を断固として排除します。

人種、民族、国籍、宗教、思想信条、年齢、性別、社会的身分、職業、身体的特徴等の属性、学歴、性自認、性的指向、障がい、疾病その他理由の如何を問わず、差別や人権侵害を認めません。また、児童労働・強制労働を容認しません。

（健康で安全な職場づくり）

第3条

JFSM は、すべての職員が心身ともに健康で安全に働ける職場環境を目指すとともに、

倫理規程	制定日 2025-9-22	文書番号 PR_900_22_R00_ja
	改定日	改定番号

職員の多様性と創造性を尊重し、ワークライフバランスの実現を支援します。

(環境への配慮)

第4条

JFSM は、一人ひとりが環境保全の重要性を理解し、持続可能な社会の実現に貢献するよう努めます。環境に関わる関連法令や規制を遵守し、自主的に資源の有効活用、省資源・省エネルギーに取り組み、環境負荷の低減を目指します。

(社会貢献)

第5条

JFSM は、事業を展開する国や地域の文化を尊重し、地域社会と良好な関係を築き、共に発展することを目指します。

(反社会的勢力との関係者遮断)

第6条

JFSM は、市民、社会、協会の事業活動に脅威を与える反社会的勢力に対しては毅然とした態度で臨み、関係を一切持ちません。

(政治・宗教活動、勧誘活動の禁止)

第7条

JFSM は、職場内での政治活動、思想活動、宗教の布教活動、あるいは個人や特定団体の利益を目的とした勧誘活動は行いません。

(公正な事業の運営)

第8条

JFSM は、公正・透明な競争と適正な取引を行います。認証・適合証明プログラムに関わるコンサルティング活動や、JFS 規格取得の強要など、優越的地位の濫用は行いません。

(知的財産権の尊重と活用)

第9条

JFSM は、JFSM の名称、ロゴ、出版物、文書、技術開発等により得られた知的財産を適切に管理・保護し、第三者による不正使用を防止します。他者の知的財産権も尊重し、侵害しないよう努めます。

(機密情報の管理)

倫理規程	制定日 2025-9-22	文書番号 PR_900_22_R00_ja
	改定日	改定番号

第 10 条

JFSM は、JFSM および関係者の機密情報・個人情報を適切に取り扱い、保全・管理を徹底します。

（倫理規程の実践）

第 11 条

本規程に反する事態が発生した場合は、原因究明および再発防止に真摯に取り組みます。通報者の匿名性とプライバシーを保護し、不利益な扱いや報復を防止します。通報は定められた手順に基づき、公正かつ適切に対応します。倫理規程の徹底のため、継続的な教育と啓発活動を行います。

本規程は年に一度見直しを行い、全職員が内容を確認します。

附則

この規程は、2025 年 9 月 22 日から施行する。

改 定 履 歴

主たる改定内容	改定日
新規制定（倫理規範から倫理規程に改称・改定）	2025 年 9 月 22 日